

ICTアワード受賞

受賞について柿沼教育長からコメントをいただきました。

今年度、久喜市では文部科学省「授業時数特例校制度」に全校が指定を受け、クラウド活用を基盤とした探究的な学びが各学校で展開されています。久喜市のICT教育の柱である「久喜市版未来の教室」実現への取り組みが評価され、この度、第6回日本ICT教育アワードにおいて「経済産業大臣賞」を受賞しました。大変光栄なことです。

今回の受賞は、各学校の先生方の努力と保護者の皆様のご協力、そして何よりも子どもたちの学びの力の結果です。今後も関係の皆様と綿密に連携し、誰一人取り残さない教育の実現を目指してまいります。



※受賞の詳細はフォトニュース(21ページ)へ

あなたの**もっか**で
学校を支援しませんか

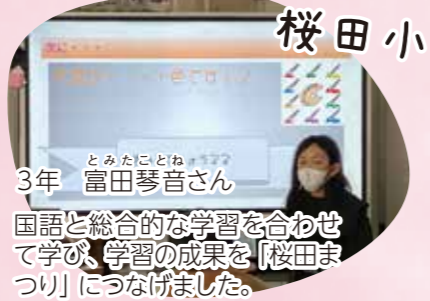
見守りするよ!

こんなこと
教えられます!

こんなアイデアが
あるんだけど...

ご協力いただける方は指導課またはお近くの小中学校へご相談ください。

☎ 指導課 (☎ 内線350)



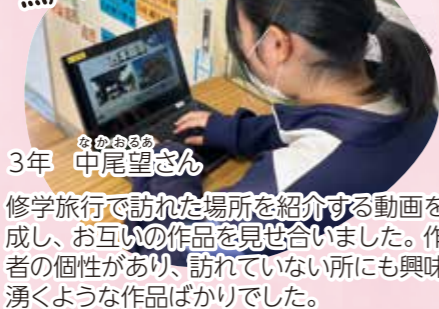
3年 富田琴音さん
国語と総合的な学習を合わせて学び、学習の成果を「桜田まつり」につなげました。

東鷲宮小



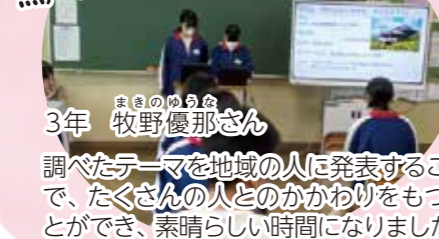
3年 持田千佳さん
みかんの木は、余分な実を落として、元気な実に栄養を届けていることを知り、みかんのひみつに驚きました。

鷲宮東中

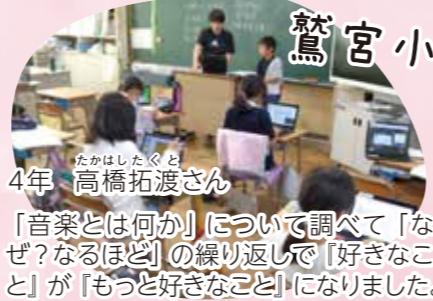


3年 中尾望さん
修学旅行で訪れた場所を紹介する動画を作成し、お互いの作品を見せ合いました。作成者の個性があり、訪れていない所にも興味を湧くような作品ばかりでした。

鷲宮西中



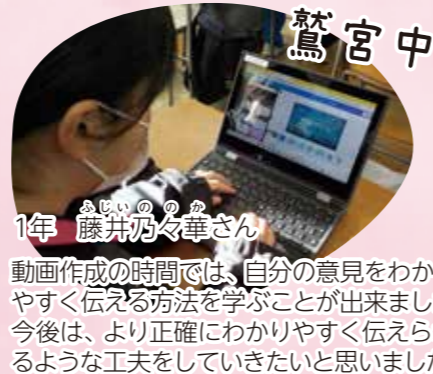
3年 牧野優那さん
調べたテーマを地域の人に発表することで、たくさんの人とのかかわりをもつことができ、素晴らしい時間になりました。



4年 高橋拓渡さん
「音楽とは何か」について調べて「なぜ?なるほど」の繰り返しで「好きなこと」が「もっと好きなこと」になりました。



6年 大野希さん
動く、楽しむ、切り拓くを合言葉に、市民の「健幸」のためにイベントを開催しました!



1年 藤井乃々華さん
動画作成の時間では、自分の意見をわかりやすく伝える方法を学ぶことが出来ました。今後は、より正確にわかりやすく伝えられるような工夫をしていきたいと思いました。

鷲宮地区



▲菖蒲パーキングエリアに飾られたペットボトルキャップアート

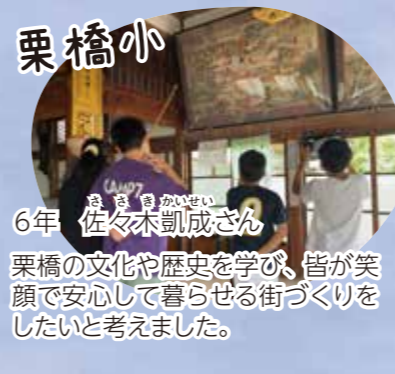
ーキングで、こどもたちから全国に交通安全を発信できたらいいと思います、学校に提案したら快く受けてくれたんです。当日の啓発ティッシュ配りでは、こどもたちも慣れてくると進んで利用者に話しかけていて、楽しそうに取り組みこどもたちのあどけない笑顔は最高でした。こどもたちには、大きくなって辛いことがあるかもしれませんが、いろいろなことを自分たちで成し遂げた経験や思い出し、頑張った思い出を、つなげたご縁を大事にして、これからも地域に恩返しをしたいと思います。



6年 来須歩夢さん
世界の環境問題や人権に関することなど新しい課題に、どんどん目を向けていくことができ、やりがいを感じています。



2年 中里羽菜さん
将来に向けた職業調べ学習で学んだことをいかして、目標を達成していく楽しさを学びました。

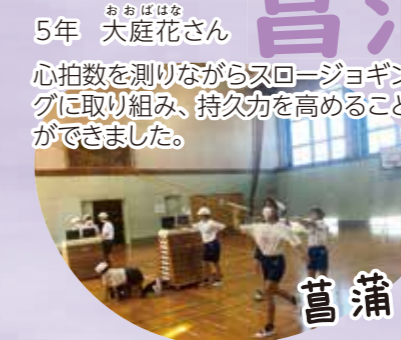


6年 佐々木凱成さん
栗橋の文化や歴史を学び、皆が笑顔で安心して暮らせる街づくりをしたいと思います。

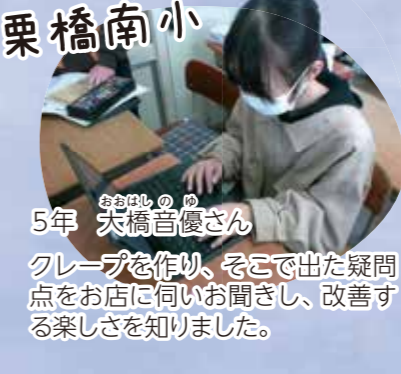
栗橋地区



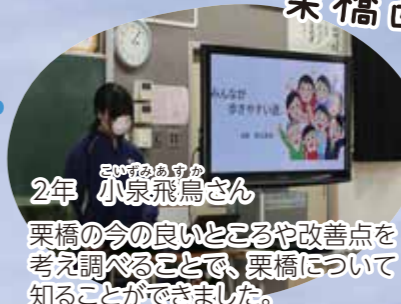
6年 森田裕生さん
ささらの歴史は興味深く、知れば知るほど面白いです。継承されていくことを祈ります。



5年 大庭花さん
心拍数を測りながらスロージョギングに取り組み、持久力を高めることができました。



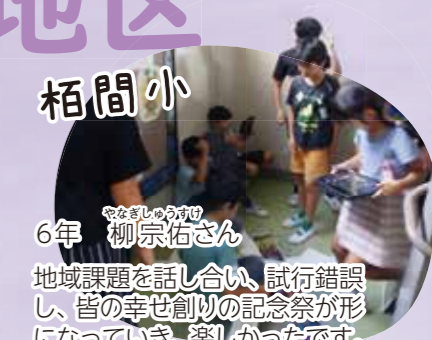
5年 大橋音優さん
クレープを作り、そこで出た疑問点をお店に伺いお聞きし、改善する楽しさを知りました。



2年 小泉飛鳥さん
栗橋の今の良いところや改善点を考え調べることで、栗橋について知ることができました。



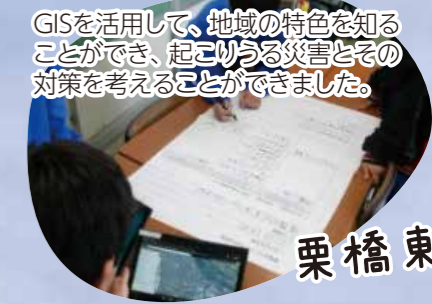
6年 田中陽真莉さん
スポーツ健幸大使として何が出来るかを考える中で、地域の人、家族や友人と一緒にスポーツをして楽しさや大切さを伝えていきたいと思いました。



6年 柳宗佑さん
地域課題を話し合い、試行錯誤し、皆の幸せ創りの記念祭が形になっていき、楽しかったです。



6年 植村柑太郎さん
クラスで提灯や神輿を調べ協力して作製し、失敗や成功を重ねることで進歩できました。



1年 島崎結仁さん
GISを活用して、地域の特色を知ることができ、起こりうる災害とその対策を考えることができました。

栗橋東中

Interview



栢間小で活動された岡田清さん

こどもたちが開校150周年記念祭のためにペットボトルキャップを集めているのを知り、たまたま寄った菖蒲パーキングで清掃の方がごみの分別をしているのを見かけ、キャップをもらえないか声をかけたんです。そしたら、NEXCO東日本の方に話をつないでくれて、たくさんキャップをもらえることになりました。こどもたちが記念祭でキャップアートを創り、想いを形にすることができたんですよ。嬉しかったですね。さらに、ご縁が繋がった菖蒲パ

地域の活力を学びへ
こどもたちの豊かな成長のためには、学校の中だけでなく、地域とのかかわりの中で活動し学ぶことも大切です。地域から教わる、地域とともに考え交流することで、こどもたちのさらなる成長が期待できます。また、地域の方もそのような活動に参加することで、達成感や充実感を得られると思います。実際に、学校とともに活動された地域の方にお話を伺いました。